

国語

問題の作成に当たっては、国語に関する基礎的・基本的な言語事項の定着と思考力・判断力・表現力を測るため、幅広い分野から出題するとともに、様々な形式の問題を出題するよう配慮しました。問題構成は、〔一〕は漢字の読み書きの問題、〔二〕は言葉の特徴やきまりに関する基本的な問題、〔三〕は古文を素材とした問題、〔四〕は評論を素材とした問題としました。

全体として、次のような力をみることに留意しました。

- 漢字の読み書き、語句の意味や言葉のきまりなど、国語に関する基本的な力
- 主題を正確に理解し、筆者の考え方を読み取ったり、表現したりする力
- 文章の展開や文脈における語句の意味を正確に捉え、理解する力
- 主題に関する語句に注目し、複数の文章を踏まえて読み取ったことを、過不足なく表現する力

漢字の読み書きに関する問題は、読みと書きそれぞれを5問出題しました。古文は、出題した古文の出典について現代語でまとめた概要、それを踏まえた古文と、古文について話した先生と生徒の会話を素材とし、内容を読み取るとともに、筆者の述べている内容について説明する問題などを出題しました。現代文では接続詞の用法などの基本的な問題や、複数の文章を踏まえて読み取ったことを過不足なくまとめる問題などを出題しました。全体の平均点は49.9点となり、前回は12.0点下回りました。

〔一〕 漢字の読み書きに関する問題を出題しました。大問全体の全体の正答率は、75.5%であり、前回は4.5ポイント下回りました。

- (一) 漢字の読みの問題で、全体の正答率は84.6%となり、前回は7.5ポイント下回りました。最も正答率が高かったのは「把握」の99.5%で、最も低かったのは「鼓舞」の60.9%でした。
- (二) 漢字の書きの問題で、全体の正答率は66.4%となり、前回は1.5ポイント下回りました。最も正答率が高かったのは「観察」の76.4%で、最も低かったのは「郵送」の48.3%でした。

日常生活において、漢字の持つ意味を意識しながら読んだり書いたりすることや、実際に文章の中で使い慣れることなどをおして、語彙を豊かにすることが重要です。

〔二〕 品詞の種類、動詞の活用形、熟語の構成や慣用句、敬語に関する基本的な問題を出題しました。大問全体の正答率は59.8%で、前回は18.4ポイント下回りました。

- (一) 品詞の種類についての理解を問う問題です。正答率は34.7%でした。
- (二) 動詞の活用形についての理解を問う問題です。正答率は32.0%でした。
- (三) 傍線部分の熟語と構成が同じ熟語を選択肢から選ぶ問題です。正答率は57.8%でした。
- (四) 傍線部分の様子を表す慣用句を選択肢から選ぶ問題です。正答率は98.5%でした。
- (五) 敬語についての理解を問う問題です。正答率は75.7%でした。

〔三〕 本居宣長『うひ山ぶみ』からの出題です。出題した古文の出典について現代語でまとめた概要、それを踏まえた古文と、古文について話した生徒と先生の会話を問題文とし、

古文の基礎的な知識や読解力を併せてみる問題としました。大問全体の正答率は45.9%で、前回は11.7ポイント下回りました。

- (一) 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題です。正答率は91.2%でした。
 - (二) 傍線部分の内容を解釈する問題です。正答率は53.1%でした。
 - (三) 傍線部分の理由を問う問題です。正答率は25.9%でした。
 - (四) 空欄部分について、生徒と先生の会話から、会話の内容と本文の内容との対応関係を読み取り、和歌が示している内容を理解することが必要です。正答率は93.9%でした。
 - (五) 傍線部分の内容を説明する問題です。正答率は17.4%でした。
 - (六) 傍線部分の内容について、筆者の考えを選択肢から選ぶ問題です。正答率は69.3%でした。
- [四] 佐々木毅『学ぶとはどういうことか』からの出題です。学ぶことについて、ⅠとⅡの二つの文章を踏まえて読み解く問題です。文と文をつなぐ言葉のはたらき、文脈における適切な表現、文章に表れている筆者のものの見方や考え方、文章全体の主題など、様々な点について問うことにより、総合的に国語の力をみる問題になるよう配慮しました。大問全体の正答率は34.6%で、前回は13.8ポイント下回りました。
- (一) 適切な接続詞を選ぶ問題です。文章の前後を丁寧に読み取る力が必要です。正答率は93.1%でした。
 - (二) 空欄に入る適切な言葉を選ぶ問題です。空欄部分を含む段落を参照しながら、文脈を正しく理解する必要があります。正答率は71.3%でした。
 - (三) 傍線部分の内容を説明する問題です。正答率は19.0%でした。
 - (四) 傍線部分の内容について、具体的に述べている部分を抜き出す問題です。言い換え表現に着目しながら文脈を丁寧に読み取ることが大切です。正答率は19.5%でした。
 - (五) 傍線部分の内容を選択肢から選ぶ問題です。筆者の用いた比喻表現を文脈に沿って正しく理解することが必要です。正答率は75.4%でした。
 - (六) 波線部分の内容について、ⅠとⅡの二つの文章を踏まえて、筆者の考えを読み取り、説明する問題です。文章中の主題に関する語句に注目し、読み取ったことを過不足なく表現する力が必要です。正答率は9.1%でした。

漢字の読み書きや言葉のきまりなどの基礎的な知識や技能は、概ね定着しているとみられます。一方で、主題を正確に理解し、筆者の考え方を読み取り表現することや、主題に関する語句に着目し、複数の文章を踏まえて読み取ったことをまとめることに課題がみられます。

国語の学習では、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高めるよう、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、言葉の特徴や使い方などを理解し自分の思いや考えを深める学習を充実させることが大切です。